

広

報

ひまわり

8

1997

萌える海と大地 さわやか交流郷

No.366



健康と福祉の理想郷づくりを目指す拠点施設である保健福祉センター「ひまわり」が7月1日にオープンしました。

同センターと結ばれている特別養護老人ホーム「はまなす苑」、標津病院などとの連携によって乳幼児から高齢者に至るまで町民への一体的な保健福祉サービスの提供を行います。

健康相談や高齢者の活動支援・在宅介護相談などお気軽にご相談ください。

◆小田桐町長 四期目の町政執行方針

— 待望の「ひまわり」オープン —

きらり輝くまちに

―町政執行の基本的考え方―

21世紀に躍動する体制整備と基幹産業の安定を

このたび、任期満了に伴う町長選挙で町民の皆様のご信頼をいただき、四たび町政を担当させていただきますことになりました。町民の皆様から寄せられました温かいご支援に心よりお礼申し上げます。

明治維新、戦後改革に続く第三の改革と言われている地方分権の細流がとうとうして流れ、大きなうねりとして押し寄せる改革の潮流は、新しい世紀に躍動する『きらり輝く標津町』の創造に一刻の猶予を与えず、また今世紀に残された少ない時間の取り組みが本町の命運を左右する重要な世紀末であることから、そのための体制整備と「基幹産業の安定」を基本としたまちづくりの施策展開に確かな道筋をつける重要な第一年次として、決意を新たにしています。

昭和六十年に町長に就任させて

いただいた以来、私は「明日を豊かにする創造実行の町政」「住む人を大切にす愛情と誠

実の町政」「みんなに開かれた公平で清潔な町政」を町政運営の基本姿勢として、「だれもが住んで良かった」「喜びをみんなと語りあえる」そんなまちなしと願いながら七千町民の皆様とともに汗を流してきました。

二年前に一つの点からスタートした地域活性化のプロジェクト事業も保健福祉センターの完成をもって完成し、今、太い線としてつながり、本町のまちづくりはホップ、ステップからジャンプの刻を迎えています。

今、四期目のスタートにあたり、過ぎ去った時の流れを振り返り、また立ち止まりながら「町民の皆様が求めるものは何か」「私ができることは何か」と初心を思い起しています。

七月八日、第三回標津町議会臨時会が開かれ、その中で小田桐町長が四期目のまちづくりの基本となる町政執行方針を述べました。

その内容を紹介します。

七千町民の生活をあずかる町長の職責の重さに自戒・自省

し、過去の尊い歴史と幾多先人の諸業によって築き上げられてきた本町の遺産を新しい世紀に向かう新しい発展へと引き継ぐために全力を尽くしていきます。

―施策展開の柱―

魅力あるまちに「ブライト・タウン・プラン」を

私は、標津町を恵まれた自然に住む人たちのゆとりとリズムが調和する「未来に開かれた母なる大地」であると思っ

たり住民総参加のまちづくりを進めてきました。

「萌える海と大地・さわやかな交流郷」の建設をまちづくりの究極の願いとするものであり、議会と町民の皆様、そして職員が一体になって今日まで築き上げてきた成果に、これからのまちづくりは地域の特性と個性が加味された自然環境と共生できるものでなくてはなりません。

このようなことから、本町では「まちづくり新計画」を補完するストーリーのあるまちづくりの推進により、地域のあらゆる資源を有機的・体系的に活用し、町民がまちの将来像を描きながら喜びを実感しあえる交流郷の実現と新しい時代に調和する格のある「きらり輝く標津

町」の建設を進めています。

まちづくりは、だれもが住みたい、住んでみたいと町民一人ひとりが実感できるものでなければならず、また、そのまちの将来あるべき姿が町民の目に映るものでなければなりません。そのために「ブライト・タウン・プラン」を樹立しました。

ブライト・タウン・プランは今、進められているまちづくりの過程、将来どのようなまちになるかについて、町民の皆様にご認識を持っていただくものです。

そのことにより、限らない魅力を秘めた標津町の将来に夢と希望を抱いていたとき、それが町民一人ひとりの生きる力とな

つて、さらによりよいまちづくりの幅広い参加意欲を促し、その帰結として住民のみなさん自らがまちづくりに参加。自らの知恵と創意により本町の未来がだれもが住みたい、住みたい、住んでみたいという魅力あるまちになることを願うものです。

―重点施策の推進―

☆農業

足腰の強い低コスト酪農を推進

- ▽乳価安定対策に取り組みます。
- ▽負債軽減対策に取り組みます。
- ▽家畜ふん尿コンポスト化を推進します。
- ▽農業経営の法人化に取り組みます。
- ▽農作業受委託制度を導入します。
- ▽スーパーカウ(高能力牛)を導入します。
- ▽酪農経営の近代化に取り組みます。
- ▽乳用牛、肉牛の質的向上に取り組みます。

国家財政の構造改革の中で、その見直しが焦点となっていま



四期目の町政執行方針を述べる小田桐町長

したウルグアイ・ラウンド農業対策費は、総額六兆百億円の維持と予算の別枠確保が決定。その内容は対策期間の二年延長、公共事業と構造改善事業や融資事業など非公共事業との割合を現行の「六対四」から「五対五」へと変更するもので、国費ベースでは財政負担の薄い融資枠が拡大されるものの、実質的には公共事業費の縮減に重点を置いたものとなっています。WTOの農産物総自由化体制の下で生産性向上とコスト低減への懸命な努力を続ける地域農業にとって、生産体制整備の遅れなどの痛手を受ける結果となったところです。

今年から、本町で実施する畜

産基盤再編総合整備事業は平成十二年までの四年間で事業費総額二十億円となっていますが、農家が必要とする事業量の対応には程遠いものがあり、今回の決定でその必要な事業費増大は益々厳しい状況となっています。

このため、十三年以降についても道営草地整備改良事業や畜産環境整備特別対策事業などの畜産公共事業を継続実施し、農家要望に応え得るできる限り

の業費枠確保について万全の姿勢で臨むとともに道の二十一世紀対策についても十三年度以降の第二ラウンドの実施に向けて強力な要請運動を展開していきます。

本町で取り組む、これらの諸事業の主な目的は、家畜ふん尿の高度利用を図る堆肥舎など関係施設整備充実と草地基盤の整備です。

本町酪農の歩むべき道は、時代の変化や世界の潮流にいささかも動ずることのない確固たるものがあります。それは、恵まれた大自然とともに生きる「有機資源循環型酪農」の確立であり、そのためには土壌の保健性を重視し、自給飼料再生産の核となる家畜ふん尿を最大限に活用した「有機低コスト経営」を

実践すること、そして耕地防風林の造成による草生環境の整備充実を図ることが、揺るぎない地域酪農の安定とさらなる発展のための第一条件であり、絶対の姿勢で臨むものです。

さらに世界の穀物在庫が大大幅に落ち込み、生産が人口の増加ペースに追いつけず発展途上国を中心に食料不安が益々広がっているという状況の中で、家畜が消費する輸入穀物

が今後ともこれまでどおりに安定的に供給される保証はないという認識を持つことも重要であり、草地酪農の有利性を再認識することが極めて重要な時期にきています。

また、このような生産体制を確立する手段の一つとして、多頭化とともに労働加重の度合いが一層増している酪農経営の現状において、有効な堆きゅう肥生産のための管理作業が円滑に行えるよう農作業の受委託、いわゆるコントラクターの活用が必要であり、制度の導入について積極的な取り組みをしていきます。

次に農地問題です。今年に入ってから中堅農家の離農が相次ぐなど、抜本的な農地の利用対策が急務となっています。

こうした土地利用、保全については現在北海道農業開発公社が一時保有する農地保有合理化促進事業の取り組みを進めているところです。将来的には公共牧場の再編を図るため利用管理の一元化と集約を念頭に時代の進展とともに本町における農業振興公社などの設立など土地の公的保有を考慮しながら土地対策を講ずるとともに、豊富な経営知識や営農意欲を持ちながら

後継者不在の経営体も少なくない現状にあることから、地域農業の存続と新たな担い手確保対策として農業経営の法人化に積極的に取り組むとともに、その育成に努めていきます。

また、後継者対策では、新卒後継予定者や新規就農希望者の研修の場として、町内酪農家における指定研修制度の創設を検討。本町の地域特性に応じた知識や技術の習得など、二十一世紀の本町の酪農を担う優れた後継者の育成に努めます。

次に、牧草や農作物の食害によるエゾ鹿の駆除対策では、これまで狩猟免許所持者に無償で有害獣駆除の協力をいただいたていました。繁殖頭数の増加から無償による駆除が限界に達していることから、より有効性を高めるためにエゾ鹿についても有害獣駆除奨励制度を適用し、駆除の円滑な推進に努めていきます。

二十一世紀を間近に控え、酪農を取り巻く環境は乳価や固体価格の推移、生産資材の動向、さらには国における農業対策の行方など不安要素が山積しています。この四年間は本町の酪農の体質を決定づける極めて重要な時期だけに、農業団体との密

接な連携のもとに町としても重大な決意をもって施策の展開を図ります。

☆漁業

周年操業体制の確立を

- ▽カラフトマスの早期回帰とサクラマスの資源化に取り組みます。
- ▽ハタハタなど歴史的に生息している魚種の栽培に取り組みます。
- ▽標津産ブランドの確立と販路拡大に取り組みます。
- ▽消費流通対策の取り組みを強化します。

国内漁業は、年々漁業生産が減少する中で、水産物の輸入が増大活発し、併せて食生活の変化による消費の多様化などにより、産地価格が低迷している状況にあって、かつての獲る漁業から育てる漁業へ、そして売求められている育てて獲って売る水産業への転換を漁業者自らの知恵と行動により成し遂げようとしています。

標津の漁業は、このような状況の中で、すぐれた経営手腕と実行力によって高度な資源増殖

と操業手法を確立して今日の繁栄を築きあげてきました。さらに未来につなぐたくましい水産業を展開するために豊かな根室海峡の恵みと漁業者の意欲が一体となった海域特性に応じた取り組みを積極的に進めていきます。

その第一が周年操業体制の確立です。

サケ・カラフトマス資源の一層の振興を図る中で、サクラマスの増殖体制を整え、春季の生産体制までを視野に入れた取り組みを進めることにより、八カ月の操業期間を可能にするものです。

まずは、効率的な放流技術を開発するための増殖河川調査から事業に踏み出し、調査結果に基づいて的確な増殖体制の構築を図るために、その取り組みを国・道とともに進めていきます。

次

に、根付けや底棲魚類などの前浜資源の栽培増殖の取り組みですが、本年から三年間の試験期間の中で、新しく底棲魚類などの栽培漁業増殖試験をスタートさせました。

経済性を踏まえた良質で安価な栽培漁業技術の開発、改良を浜の担い手とともに実践体制を

つくり、漁業を希望のもてる魅力的な産業とするために、これまで行ってきたホタテ、ウニの一層の増産体制とともに、これら栽培漁業の着実な定着を進めていきます。

なお、海域の拠点となる種苗生産施設の整備については、道が進めている海域栽培漁業推進計画の実践プランに基づく栽培漁業センターの開設を要望し、その取り組みを管内関係団体一体となつて進めていきます。

こうした取り組みで、増産された水産資源は、世界的食料需給の逼迫が懸念されている中で、食料としての重要性はますます高まっていくものと予想され、これまで以上に本町が果たしてきた安全で安定した水産物の供給基地としての役割が求められていくものと思われま

す。高度な品質管理のもとでの生産から加工までの一体的な取り組みは、消費者に標津産ブランドとして安心を与え、国内をはじめ海外輸出などの販路拡大に弾みがつき、地場水産加工業の主体的かつ意欲的な取り組みへと進展していくものであり、これが漁業経営の安定と地域経済活性化に大きく寄与するもので

あります。ことから、これまで以上に

産地における消費流通加工体制づくり強化の取り組みを進めていきます。

漁

業基盤の整備については、標津漁港の拡張整備の促進を図られ、平成十一年までの第九次漁港整備長期計画の中で、一部供給が実現するよう運動を強化し、根室海峡の中心に位置する拠点港としての整備充実を努めていきます。

また、薫別港についても地域の生活と一体となつた重要港であるので、潤いのある環境づくりに努めていきます。

次に、標津漁港海岸環境整備事業（マリンプラザ）は、平成十二年に一部の供用開始ができるように道が主体となつて進捗が図られています。

これに合わせて、背後の整備は町が事業主体となつて進めていくことになっていきます。平成十二年に一部の完成を目指しているマリンプラザ計画（海釣り公園）と連動した背後計画として「釣りの里」としての施設機能の整備を基本とした計画を策定し、海を活用したまちづくりの拠点整備に着目するとともに現在、未計画となつている既存整備計画の南部分の区域についても、産卵や幼稚魚の保護育



21世紀に躍動する「きらり輝く標津町」の創造を目指します

成の場として多様な役割を果たす藻場づくりや貝類の蓄養など、漁業生産と調和した海岸整備が将来進められることを念頭に置いたプランづくりに着手します。

☆林業

基幹産業と密接にかかわる森林資源を保全

- ▽標津川、武佐川流域の森林機能の向上を図ります。
- ▽川の森づくりを進めます。
- ▽公的分収林の整備を促進します。
- ▽森林公園の整備を進めます。

近年、世界における環境保護の高まりの中で、森林のもつ公

益的機能の有効利用と自然と共存・共生する住民生活、産業活動が求められています。

環境にやさしい自然と調和するまちづくりを進める中で、森林の保全育成は欠かせないものであり、また基幹産業である酪農と水産業発展の源泉資源として、町民共有の財産として守り育て、未来へ引き継いでいかなければならないものです。

このことから、従来より各種事業の導入を図り耕地防風林、河畔林、防霧林などの環境保全型森林造成を積極的に進め、さらに本年度からは森林開発公団の水源林特別対策事業が実施の運びとなり、本町の森林づくりは着実な進展をみています。

より高度な公益的機能の発揮を求めするため源流部から河口部まで一帯の森林造成が必要であり、武佐川支流のシユラ川、ウラップ川の源である日本製紙社有林約千三百ヘクタールを水源涵養保安林として指定させてい

たくよう同社に申請中であり、併せて当地に道営事業による大規模な水源地域整備事業の導入に向け国、道に強力に要請し、森林の持続的経営管理を進めながら、一層の拡大造林に努めていきます。

☆商工・観光 バランスのとれた商工業・観光の発展を

- ▽個々の経営実態に即した商業経営の在り方について検討します。
- ▽商店の魅力創出、各店の個性確立、サービスの充実に取り組みます。
- ▽忠類川サケマス釣獲調査の事業化に向けた整備を進めます。
- ▽滞在型体験観光の推進を図ります。
- ▽サーモンパークの機能向上を図ります。
- ▽ふれあい加工体験センターの充実を図ります。
- ▽加工、冷凍施設の建設による地場産品の商品化に努めます。
- ▽各施設の機能連携による観光推進を図ります。

今日、商工業の経営を取り巻

く状況は、どこの地域においても外国資本あるいは大型店の進出に加えて消費動向の多様化により厳しい環境下におかれています。

本町でも、いま申し上げましたような状況に加えて基幹産業の低迷が購買力の低下を招くなど、一層の厳しさが増えています。

これらの状況を総合的に判断し、本町がこれから歩むべき商業経営の方向は、おかれていく厳しい現実を直視し、与えられた立地条件の中で地域の特性と資源の有効活用を図り、小規模事業所ならではのきめ細かいサービスと個店の独自性を発揮して新たな購買層の確保に努めなければならないものと思われ

ます。

そのため行政として何をすべきか、また行政の果たすべき役割について、関係団体と十分な協議の中で、地域活性化と商工業の振興を図っていきます。

次に観光の振興ですが、ご承知のとおり忠類川フィッシングの効果はサケのまち標津町の知名度を全国区にするとともに地元経済効果をもたらしてくれ

ました。

相当数の釣り客が地元の宿泊施設を利用するなど懸案でした。滞在型体験観光の取り組みに弾みがつくとともに交流人口を対象とした新たなビジネスチャンスが生まれるなど地域活性化の担い手として期待されることから、サーモンパークや既存の体験型観光資源の機能向上に加え、商工会、観光関係団体との密接な連携を図る中で、観光産業の振興につとめていきます。

☆保健・福祉・医療

高齢化社会に対応したまちづくりを

- ▽在宅介護を基本としたマンパワー（人材）を確保します。
- ▽介護ボランティアの育成につとめます。
- ▽既存施設を有効利用した在宅福祉の推進につとめます。
- ▽健康管理、保健活動の充実を図ります。
- ▽健康と福祉の村の機能強化を図ります。

迫りくる高齢化・少子化社会を迎えて、高齢者の方々が住み慣れた地域で人々とのふれあ

を保ちながら健康で自立した生活を送ることができるとして、支える介護支援の確立が急がれ、また活力ある地域社会を築くために、未来を担う子供たちが健やかに生まれ育つ環境を整えることが求められています。

本町においても、新しい世紀を見据えた乳幼児からお年寄りに至るまでの方々を地域全体で支える保健・福祉・医療の体系的な在り方の構築が急がれていました。この度の保健福祉センターの完成により、町民の皆様

の疾病予防と健康づくり、介護支援に加えて高齢者の生きがいと保養の体制が確立されました。介護保険法案の行方、あるいは成熟した社会がもたらしたともいえる治療方法が確立していない病気がまん延するなど保健福祉行政が担う新しい世紀に向けた課題が山積しています。保健・福祉・医療が一体となった総合的なサービス供給体制の確保、在宅福祉を基本としたマンパワー、介護ボランティアの確立によって、日々、町民の健康管理にあたる健康と福祉の村の機能強化を図る中で、新しい世紀に対応する体制整備をしていきます。

☆教育

21世紀を担う子供たちのために教育施設の充実を

- ▽学校施設、社会教育施設の改修をします。
- ▽教育環境などを考慮した適性学校規模の検討をしていきます。
- ▽町内小中学校の教育機器の整備をします。
- ▽スポーツ、社会教育施設の整備改修をします。
- ▽既存施設の有機的連携による生涯学習を推進します。



学習環境の整備を根ざし、風土に合わせた教育の推進を行います

時代を担う子供たちが、人々とのふれあいのの中で、心豊かにたくましく成長されることが、大きな願いです。そのために学習環境の整備を図るとともに標準津の風土に根ざした教育の推進を図ります。

また、町民の皆様が生涯を通して、人生に潤いと生きがいを感じて学べるように生涯学習の推進に努めます。

☆生活基盤・環境整備

潤いとやすらぎのある住環境整備を

- ▽標準市街の条丁目改正および住居表示を実施し、わかりやすい合理的なまちづくりを進めます。
- ▽市街地拡大計画により、潤いとやすらぎのある市街地を形成します。
- ▽地場産業、住民生活を支える道路整備を進めます。
- ▽ゴミの分別収集とリサイクル推進体制の整備につとめます。
- ▽消防庁舎、防災道路を建設します。

今、自然・生活・生産の場における環境保全が問われる中、自然と共生できる生活環境

整備を求められています。自然環境と調和し、潤いとやすらぎのあるまちづくりのために市街地の拡大を図るとともに地場産業と住民生活を支える生産道路・生活道路の整備に努めます。

また、地球環境の保全と限りある資源の有効利用から今日、求められている資源循環型社会への対応のためにゴミの省力化、分別収集、リサイクルと大きな社会問題となっているバイオキシンや産業廃棄物問題について、最善の方策を検討し、実現のため努力します。

以上、第四期目の町政を担当するにあたり、所信の一端を述べさせていただきました。今、激動の世紀末の真つ只中にあって、新しい世紀の創造に向けて確かな改革と堅実な歩みが求められています。二十一世への橋渡しの役割を与えてくださいました皆様深く感謝申し上げますとともに与えられた使命感に徹して町民の負託に応え、標準津町の確かな未来を築くために最善の努力をします。

ストーリーのあるまちづくり 新たな祭りの 創造を目指して

町民総参加で楽しめる「祭り」とは！

標津町の伝統として未来につなげる「祭り」とは！

そんな目標を基本に立ててスタートした「祭りをやろう会」が発足して一年が経過しました。メンバーは各地域、各産業、各年齢層からなる三十人。

会議も回を重ねること十五回を数えます。仕事を終えた午後

七時半からの会議ながら、毎回夜遅くまで真剣な議論を重ねてきました。

百年続く伝統の祭りの創造がテーマだけに、なかなか議論がまとまらず行き詰まることも度々。しかし、メンバーの熱心な取り組みのお蔭で、まちの未来、地域の連帯を考えた祭りの骨格を創り上げることができました。

検討途中ですが、町民のみなさんに経過と現状の報告をします。

来年の八月には、新しい祭りを開催する予定で進めています。実際に祭りが始まる段階では、みなさんが主役です。みなさんのご理解と今後のご協力についてよろしく願います。

祭りは心のやすらぎと潤い、

そして愛郷心を育むと同時に地域振興の課題解決の手法のひとつと考えています。従って祭りには目的が必要です。海も山も町も標津全体が認めるテーマと

「標津町の水は日本一」豊穡な大地、豊かな川と海。

農業や漁業をはじめ、すべての町の産業の発展は豊かな良質な「水」により育まれてきました。私たちが日々の生活で何気なく口にする「水」も、素晴らしい大自然がその恵みをもたら

す。

は？…

それは標津の資源を活かすこととです。標津町の自慢できる資源とは？…

「標津町の水は日本一」豊穡な大地、豊かな川と海。

農業や漁業をはじめ、すべての町の産業の発展は豊かな良質な「水」により育まれてきました。私たちが日々の生活で何気なく口にする「水」も、素晴らしい大自然がその恵みをもたらす。

☆標津・豆知識☆

みなさんが普段口にして
いる水は、一部地域を除き
「ウラップ川」という川が
水源地になっています。

してくれるのです。

標津町の将来の繁栄を考えると、豊かな自然が生み出す「水」なくして未来は語れないのです。

私たちは今一度、標津の発展をもたらした水に感謝し、そして後世に受け継いでいく財産を守るという意味で、祭りづくりの基本に「水」を取り上げて考えてみることにしたのです。

水に感謝、そして守る「水との共生」が私たちの掲げたテーマです。

そして、そんな意味を含め、祭りを起こす基になる新しい伝説を「水」をテーマに創作しました。

「祭りをやろう会」は、この伝説に基づき祭りを完成させていきます。祭りの姿は時代とともに変化を遂げていくかも知れませんが、祭りの意義はいつの時代になっても、受け継がれていくと考えています。

そういう伝説です。私たちの祭りは、ここから始まります。

私たちの祭りづくりは、次の手法により進めています

進捗状況

地域資源と課題の抽出

地域資源の洗い出し

資源の何を核として活かすか

核を活かした新しい伝説の創作

祭りの創作
神事↓祭り↓ファイナル

祭りの名称、期日、会場

踊り、パレード、衣装

山車、マスコットキャラクター

音楽、音響、小道具、装飾

照明、バザー、演出など

祭りの実施

計画平成十年八月

☆企画内容☆

助役に 木下氏を選任



七月八日、第三回標津町議会臨時会で山口助役の任期満了の

山口助役三期十二年 ご苦労さまでした

助役として三期十二年間つとめてきた山口昭助役が、任期満了に伴いこのほど勇退しました。

た。

その間、本町発展のため町政を支え、本町役場勤務は昭和二十七年以来、四十五年二カ月にも。

七月八日の臨時会では「議会ははじめ多くのみなさんの厚情ある指導、支援に感謝している。今後は、一町民としてふるさと標津のため身を捧げる」と退任のあいさつを述べました。

山口助役、長い間本当にご苦労さまでした。

勇退に伴う助役人事で、総務住民部長の木下孝氏（五七歳）が選任されました。

選任の同意を受けた木下氏は同臨時会で「職責の重大さに身が引き締まる思い。町長のもと自らは誠実を旨とし、組織にあつては職員一人ひとりが自主性、創造性、思いやりをもって取り組める職場づくりに最善の努力をする」と力強く決意を述べました。

北標津小中が公共施設に 300株の花の苗を



六月二十四日、北標津小中学校（名木野宏夫校長・全校生徒三十九人）の生徒と先生方が役場庁舎と生涯学習センター・あすばる、総合体育館前の花壇に花の苗三百株を植えました。

同校の伝統として緑化運動の推進に力を入れており、木の花の苗の植え付けは今年で十九年目。今回、植えた苗は、マリールゴールドとサルビア。生徒たちが三月下旬から同校のビニールハウスで大切に育てたものです。

八月には花が見ごろとなり、人々の目を楽しませてくれるでしょう。

苗木をプレゼント

「緑の宅配便」

緑の大切さと森林の役割の重

要性を理解してもらおうと標津営林署（木下敏署長）と町では、過去一年間に新婚カップルと赤ちゃんが生まれた世帯の希望者三十八世帯に「緑の宅配便」として、アカエゾマツとニオイヒバをプレゼントしました。

このうち、六月二十三日に木下署長と小田桐町長が渡辺一弥さん（双葉町）宅を訪れ、長男の顕くん（11カ月）をはじめ家族が見守る中、一株づつ庭に丁寧に苗を植えました。



7月11日、職員から見送られる山口前助役

フリーマーケット大好評 双葉町内会が主催



また、今回の販売品のうち、衣類や生活必需品を北方四島の学校に贈る予定で、友好の輪を広げようとしています。

なお、売上げ金の一部は社会福祉協議会に寄付しました。

双葉町内会では、家庭で眠っている衣服や食器、生活必需品などを有効活用しようと七月六日、標津地区生活館でフリーマーケットを開きました。

町内会婦人部が中心となり各部員が販売品を持ち寄り、集ま

った品物は約五百点。販売開始の午前十時には、たくさんの町民が会場を訪れ、両手に持ち切れないほど品物を購入する人もいたほどの人気ぶり。藤山由里子婦人部長は「予想以上の好評だったので、今秋か来年にまたぜひ開きたい」と話しています。



仲間の大声援を受け 300歳ソフトで汗流す

北海道スポーツ百選に制定されている第18回町民300歳ソフトボール大会(町教委主催)が7月6日、町営球場などを会場に行われました。

この大会は、必ず女性一人を含め、出場する9人の合計年齢が300歳以上でなければならないというユニークなルールを用いて行われています。

試合は2ブロックに分かれ、職場や町内会、友人同士など合計25チームが参加。選手たちは仲間の声援を受けながら熱戦を繰り広げました。



色丹島の青少年が 日本の授業を体験



色丹島在住のロシア青少年9人と引率教員1人が6月26日から28日までの3日間の日程で本町を訪問しました。

6月27日には、標津中学校と川北中学校を訪問。英語や体育、書道などの授業を体験し日本の学校教育を肌で感じたほか、両中学校全校生徒の歓迎の交流を受け、楽しい1日を過ごしました。ホームステイでは、やはり言葉の通じない中での交流に四苦八苦。それでも2泊3日の交流に、別れの際には涙を浮かべていました。

中学生やホームステイ受入家庭では、普段経験することのない外国人との交流で、国際感覚と北方領土問題への認識を新たにしました。

子供たちと高齢者が 巣箱作りに挑戦

学校五日制などの事業の一環として、小島たちに手作りの家をプレゼントしようと、川北生涯学習センターとポー川史跡自然公園では六月二十八日、蕙別小中学校を会場に「出前巣箱づくり教室」を開きました。

同校の小学生八人と父母五人、蕙別老人クラブ会員四人が

参加。小学生は始めのうち、ぎこちない手つきでしたが、ノコギリの操作や釘の打ち付けなど同老人クラブの手ほどきを受け、世代を越えた交流を通じて一人ひとりが自慢の巣箱を作り上げました。

また、学校の教材として利用してほしいと、同老人クラブが作った巣箱四個を同校に贈りました。なお、この教室は古多様、北標津地区でも開かれました。



幸福の木を寄贈 西川北の川上さん

役場庁舎内に潤いをと、このほど川上道春さん(西川北)が高さ4・5mもある幸福の木を寄贈しました。

「町民のみなさんが幸せに暮らせるように」と川上さんの願いが込められています。



「ひまわり」前に 手押し信号機設置

保健福祉センター・ひまわり前の道道川北茶志骨線に6月19日、押しボタン式信号機が設置されました。

「健康と福祉の村」などの整備により、同センターや標津病院、生涯学習センター・あすばるが建設され、これらの施設利用者のためバス停留所を設置。歩行者の道路横断の危険防止から押しボタン式信号機の設置を公安委員会に要望していました。

町と警察では、道路を横断する際には必ずこの信号を利用し、事故にあわないようにと呼びかけています。

また、この道道の交通量の増加により、標津市街側からサーモン橋手前まで制限速度40kmとなりましたので、安全運転をお願いします。

本町での交通事故死ゼロの日は六月三十日で「七百日」を達成しました。

七月一日、北海道交通安全推進協議会から町交通安全推進協議会（疋田敏一会長）へ表彰状の伝達式が役場で行われました。

また、中標津警察署・清水耕二標津駐在所長は、「死亡事故は発生していないものの事故の発生件数は年々増加傾向にあり、一歩間違えうと死亡事故につながる。さらにこの時期、観光客の入り込みで交通量が大幅に増えていることから、『スピードダウンとシートベルトの着用を』と呼び掛けています。

交通事故死ゼロ

700日達成



本町での死亡事故は、一昨年七月三十一日に伊茶仁と川北で発生。以来、交通事故死ゼロの日が続いています。

町内では、同協議会をはじめ交通安全指導員、各町内会、各事業所などが安全運動の推進に取り組んでおり、疋田会長は「これを契機に地域を挙げて、より一層の交通安全運動を推進していきたい」と、一日も長い交通事故死ゼロの日の継続を願っています。

みんなで交通安全 を呼びかける



夏の交通安全運動期間の初日となる七月九日、町交通安全協会（疋田敏一会長）と町では、警察の協力を得て、ポー川史跡自然公園前の国道沿いで街頭啓発を行いました。

漁協、農協、商工会の青年部や婦人部、各町内会や各事業所の職員など約六十人が参加。商工会婦人部が真心こめて作った

交通安全祈願の「愛の鈴」やテイスシユ、パンフレットなどをドライバーに手渡し、交通安全を呼びかけました。

核兵器廃絶訴え 自転車で日本一周

長崎で原爆を体験し、核兵器廃絶を訴えながら自転車で日本一周に挑戦している長崎県加津

佐町の坪口勉さん（70歳）が、六月二十六日、役場に立ち寄り、「今の人たちがこれから生まれてくる子供たちに、二度と悲惨



十六歳の時に働いていた兵器工場で魚雷の組立作業中に一・二キロ先で原爆が投下され、中にいた半数以上が死亡。自分はいった半数以上が死亡。自分は作業機に守られ、頭部の切り傷

な体験をさせたくない」と訴えました。

坪口さんは、五月二十日に長崎市の原爆記念公園をスタートし、日本海沿いに北上、ひたすらベタルをこぎつづけ、六月十三日に函館入り。道内に入ってから時計回りに沿岸を走り、六月二十五日に本町に到着。これまでの走行距離は通算二千五百七十キロにも。

日本一周に踏み切らせました。

「北海道の人たちはとても親切」と話す坪口さんの日焼けした顔からは七十歳という高齢には思えないほど。ゴールとなる長崎県には九月上旬の予定で、坪口さんは、役場職員の見送りを受けながら、再び出発してきました。

お年寄りや身障者が パチンコで親睦



町社会福祉協議会（西山吉二会長）主催の第17回親睦パチンコ大会が7月14日、標津娯楽センターで開かれ77人が参加し、パチンコを楽しみました。

この大会は、同センターの遠藤稔社長のご好意により、お年寄りや身障者などを対象に相互の親睦を深めてもらおうと毎年開かれているもの。

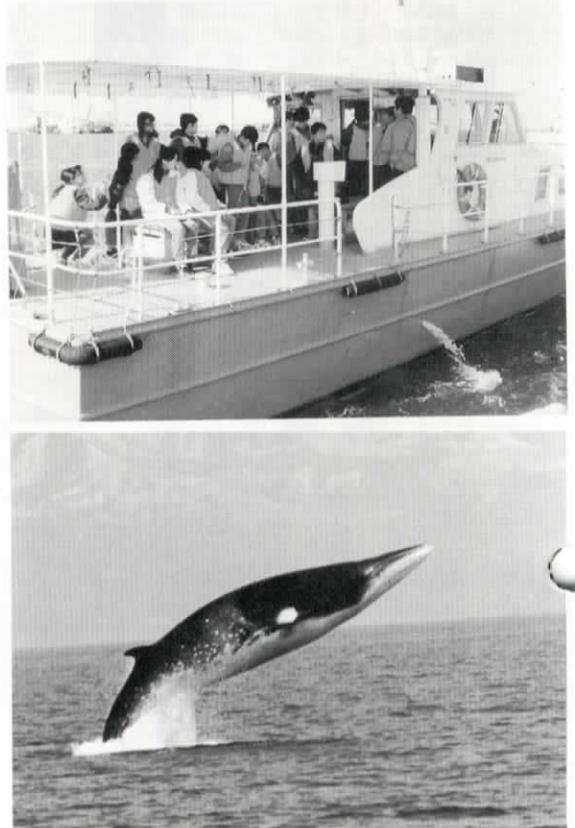
優勝は14,536発を出した栗栖守さん（78）。このほか、参加者には、ズバリ賞やラッキー賞、特別賞など数多くの賞品が用意され、楽しいひとときを過ごしました。

クジラウォッチング に中学生を招待

（有）千島観光汽船（竹下恵隆社長）では、六月二十五日から二十七日、七月一日の四日間、町の新しい観光資源であるクジラウォッチングに、町内の中学

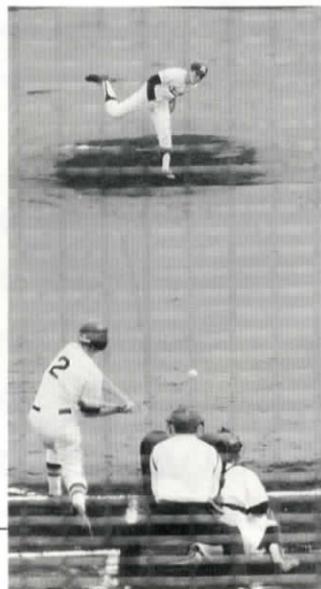
二年生九十四人を招待しました。クジラウォッチングの招待は竹下社長が「町にお世話になっているので、何か還元したい」とのことから、子どもたちにくジラウォッチングの醍醐味を味わってもらおうと、一昨年から行われているものです。

ウォッチングを体験した中学生は「いたぞ!」「あそこだ!」と歓声をあげ大喜び。「クジラが標津の海にいるなんて知らなかった」などと話していました。同社では、この招待を毎年続けていく予定です。



標津沖でみられるミンククジラ（写真は千島観光汽船・池田勝彦専務が5月14日撮影したもの）

健闘! 標高 野球部



七月一日から釧路市民球場で開かれた全国高校野球北北海道大会釧路地区支部予選で標高高校が見事な戦いぶりを見せました。一回戦を圧勝した標津の二回戦の相手は強豪・釧路江南。後攻の標津は、初回いきなり一、三塁のピンチ。一塁走者がスタートしたのを見て、捕手が送球。二塁手が途中カットして三塁走者が飛び出すのを見て

あと一歩で涙をのんだ戦いぶりに関係者の脳裏をかすめた。スタンドでは「標津が勝つ!」とざわめき始めた。そして八回表、江南の攻撃。二死二塁からタイムリーで同点にされ、重盗などで初めてリードを許し、結果二―四の惜敗。破れはしましたが、スタンドから割れんばかりの拍手が響きわたりました。同校野球部は、昨年から週末を釧路勢などと数多く練習試合

送球。タッチアウト。これで流れば標津に。その裏、連打で先取点を奪う。五回表に同点にされるが、六回裏、すかさずタイムリーで一点リード。随所にファインプレーなど固い守りと数間隆介投手のコーナーをていねいにつく投球に江南打線は沈黙し、七回終了時点で二―一のリード。この時、昨年の大会で強豪・釧路工業と対戦し、九回裏二死までリードし、

をこなし、実践の中でレベルアップを遂げ、課題の守りを鍛え上げてきました。高木英樹監督は「最高のゲーム。最後は詰め甘さがだが、選手は本当によくやってくれた」。大菅学主将は「去年より今年の方が悔しいが、選手一人ひとりが役目をきっちり果たした。後輩には今以上の成績を」と話してくれました。確かな実力に今後、期待がもてます。

対釧路江南戦でコーナーをていねいにつく好投を見せた数間投手。捕手は西選手

みんなの広場

みんなの声を
このコーナーに
お寄せください

保健福祉センター「ひまわり」内の在宅介護支援センターとは？

Q

保健福祉センター「ひまわり」のオープンにあわせて、同施設内に在宅介護支援センターが開設されましたが、これはどういったサービスの提供を行うのですか？

A

在宅介護支援センターは、高齢や身体虚弱などにより、在宅生活に介護が必要な、おおむね六十五歳以上の方やその家族、ボランティアの方々を支援するために開設しました。

専門職員による生活機能回復訓練や保健福祉サービスに関する各種相談に応じ、必要なサービス内容の説明や申請手続きの

代行、関係機関とのサービス提供調整などを行います。さらに、車イス、ベット、手すり、歩行器および食器な

ど生活介護用品の展示、紹介や使用方法の説明なども行っています。

施設の利用は無料です。お問い合わせは、電話、手紙、来館を問いません。どうぞお気軽にご相談ください。



介護支援センターも開設した「ひまわり」

▽在宅介護支援センター
☎ 2-1588

▽保健福祉センター「ひまわり」
☎ 2-1515

時事川柳

無礼講折り目正しいのが一人

小路惣一郎

分裂も妥協もできぬ改革案

〃

自分にも正直になる難しさ

〃

花嫁の引く手の中に夢多く

今泉 慎子

七回忌母を偲んで過去が見え

〃

背いくらへ孫寄つて来てほほえみぬ

戸村 寿生

換気口雀の親子住み付いて

〃

ドッキリはああ思春期の妄想か

〃

長嶋の勘違い不滅じゃなく破滅

太田 明人

たくましい農夫の日焼け陽の微笑

〃

「実際に住んでみて、標津の人は人情味があり、とても住みやすいまちですね」と、

まちの印象を話すのは、今年四月に(社)北海道さけ・ます増殖事業協会十勝支所から同協会根室支所所長代理として着任した大坂さん。

出身は後志支庁管内、神恵内村。実家が漁業を営んでい

新町民に スポット

(社)北海道さけ・ます増殖事業協会根室支所
大坂 義明 さん



多くのみなさんと
知り合いたいですね

人でも多くの町民のみなさんと知り合い、このまちに早く溶け込みたいですね。そして少しでもまちのお役に立てれば……。早くも町民の一員として、まちづくりにも意欲をのぞかせています。

「今、さけ・ますの捕獲、採卵の準備段階で各現場十三カ所の状況把握など勉強することがいっぱい」と大忙しの毎日。「これから漁業者の方々は、もちろんのこと、一

標津に来てまだ四カ月。

「標津・魚の日」に注目しており、「この活動は、素晴らしい取り組み。今後も続けてほしいですね」

趣味は野球観戦。大の巨人(長嶋)ファン。「今年は低迷中ですが、スーパーミラクルが起きるはず」と優勝を信じているとか。



科学館2階特設コーナーで開かれている「世界メダカ展」

標津サーモン科学館では、夏休み特別企画として「世界のメダカ展」を開催しています。今では珍しくなりました

科学館で「世界メダカ展」



情報

日本のメダカや、色鮮やかな東南アジア、アフリカのメダカたちを展示しています。ご家族そろってお越しください。

〈期間〉

・7月19日～8月24日

〈場所〉

・標津サーモン科学館
2階特設コーナー



夏休みは
サーモンパークへ

公園内に大型遊具を増設

みなさんから多くの要望がありました本格的なアスレチックが、夏休みを前に増設されました。

場所はサーモンパーク内の「子供冒険の丘」周辺で、幼児から高学年まで楽しめるように工夫してあります。おおいにご利用ください。また、広い芝生を走ることが



サーモンパーク内に増設された木製の大型遊具

できる「ポピーサイクル車」の無料貸し出しも行っています。

〈増設した遊具〉

- ・コンビネーション遊具一式（幼児用すべり台、ブランコ、ロープ・チェーン登り、輪くぐり、展望台）
- ・ロングすべり台（二基、全長15m）
- ・ロープ登り（全長10m）
- ・階段登り（全長10m）
- ・ポピーサイクル車（芝生用足踏み回転車）幼児用二台、児童用四台、大人用四台

サーモン科学館

利用案内

- 開館期間 2月1日～11月30日（12月、1月は休館）
5月～10月は無休
2・3・4・11月は毎週水曜日休館。
ただし水曜日が祝日の場合は翌日休館
- 開館時間 9：30～17：00（入館は16：30まで）

●入館料

	個人	団体(20人以上)	年間券
■一般	610円	480円	2,030円
■高校生	400円	320円	1,010円
■小中学生	200円	160円	500円

標津サーモン科学館

☎ 2-11141

FAX 2-11112

募集

**「中小企業大学校ねむろ教室」
参加者募集**

中小企業大学校では、中小企業の経営者・管理者・後継者の人材育成を図るため、次のとおり「中小企業大学校ねむろ教室」を開催します。

■日 時 10月7日(火)～8日(水)

■場 所 根室商工会館

■研修テーマ

「中小企業に求められる時代を見る眼と決断力」

■対象者

中小企業の経営者・管理者・後継者

■受講料 22,000円(税込)

■申込期日 8月22日(金)

★申込み・お問い合わせは、商工会(☎2-2333)まで。

**海上保安大学校・学校
学生募集**

■受験資格

昭和52年4月2日(学校学生は昭和49年4月2日)以降に生まれたもので、高等学校を卒業した者及び平成10年3月までに高等学校を卒業見込みの者または高等学校卒業と同等の資格があると認められる者。

■試験日

大学校…11月1日～2日

学 校…9月28日

■受付期間

大学校…8月28日～9月9日

学 校…8月18日～9月1日

■採用予定数

大学校…約50人

学 校…約150人

★申込み・お問い合わせは、羅臼海上保安署(☎01538-7-3999)まで。

**警察官・婦人警察官
募 集**

■受験資格

・A区分…学校教育法による大学(短期大学を除く)を卒業または平成10年3月までに卒業の見込みの方で、昭和42年4月2日から昭和51年4月1日までに生まれた男女。

・B区分…昭和42年4月2日から昭和55年4月1日までに生まれた男女。

■試験日 9月21日

■受付期間 8月1日～9月1日

★申込み・お問い合わせは、最寄りの警察署・駐在所・派出所まで。

道路

**「道路をまもる週間」
実 施 中**

建設省では、次のとおり「道路をまもる週間」を実施しています。

■期 間 8月1日(金)～30日(日)

■運動内容

- ・道路環境の点検と整備
- ・道路の正しい利用の指導
- ・道路愛護思想の普及

—建設省—

水

「水の週間」実施中

■期 間 8月1日(金)～7日(木)

■運動内容

- ・テレビ、ラジオ、新聞、雑誌、ポスター、パンフレットなどによる広報
- ・講演会、展示会、映画などの開催
- ・水資源功績者の表彰
- ・水資源施設の見学
- ・親水活動の実施
- ・作文などの募集

■実施主体

国土庁、開発省庁、地方公共団体、水の週間実行委員会

戸籍の窓口から

(6月11日～7月10日届出分)

ご結婚おめでとう

夫の氏名	妻の氏名	住 所
佐藤 金吾さん	棚橋 啓子さん	曙 町
石橋 雄亀さん	五百川ミイさん	本 町

お誕生おめでとう

あなまえ	住 所	保護者の氏名
小守 紫音くん	曙 町	小 守 鉄 男 登 志 江
益子ああとくん	共 栄 町	益 子 英 幸 治 枝
権随 結花ちゃん	共 栄 町	権 随 洋 夫 俊 子
平井 大和くん	川 上 町	平 井 敏 雄 雄 緑

おくやみ申し上げます

氏 名	住 所	年 齢
三 上 はる夏さん	望ヶ丘町	87歳
下 本 良 廣さん	寿 町	48歳
三島木 友 治さん	共 栄 町	82歳
佐々木 幸 子さん	東 浜 町	76歳

**寄付・寄贈
ありがとうございました**

●町社会福祉協議会に――

活動資金として

・聖友標津支所

香典返しをやめて

・室井正さん・下本友子さん

・三島木キクさん・小野廣さん

・佐々木博さん

●保健福祉センター「ひまわり」に――

・北庄久枝さん・奥勝義さん

・矢部勲さん

●はまなす苑に――

・大桃光子さん・小林理容院

・標津漁協婦人部

●標津病院に――

・渡辺忠孝さん・標津漁協婦人部

●図書館に――

・富森博さん

保健・福祉

在宅保健婦・看護婦(准)の調査について

高齢化社会の到来や介護保険制度の導入を控え、保険福祉介護サービスを求めている方々が身の回りにたくさんおられますが、現在、この方々の相談や世話、生活の支援・協力をしてくださる保健婦、看護婦(准)が不足しています。

北海道国民健康保険団体連合会では、保健婦、看護婦の貴重な知識と経験を生かし、市町村の保健福祉サービス事業に

ご協力いただける方の調査を実施しています。

アンケートにより、ご協力して下さる方のご都合などを承知したいので、ご連絡をお願いします。

■連絡先

北海道国民健康保険団体連合会
 ツーダイヤル：0120-88-5163
 F A X：011-231-5178

郵便局

ご存じですか「かもめーる」

ただ今、郵便局では、暑中見舞いハガキ「かもめーる」を発売しています。

使い道は、お店の宣伝にもよし、結婚式の出欠用ハガキに使用するのもよし、各種案内状にもご利用できます。

料金は50円で、9月7日(日)にはくじの抽選が行われ、素敵な商品が当たるチャンスもあります。お早めにお買い求めください。

★お買い求め・お問い合わせは、お近くの郵便局まで。

交通安全・防災

火災発生防止の心がまえ

～一般家庭でのゴミ焼き～

- 市販の焼却炉(ふた付きで火の粉などが飛散しない構造のもの)を使用し、ドラム缶などでは使用しないこと。
 - 強風注意報、乾燥注意報が発令されている日は行わないこと。
 - 周囲に燃えやすいものがないところで行うこと。
 - 一度にたくさん焼却しないこと。
 - 必ず監視と水を用意すること。
- ※家庭、職場においても火の始末には十分注意し火災の発生を防止しましょう。

—標津消防署—

山岳遭難を防ぐために

～万全ですか?計画・装備・体力は～

- 余裕のある計画を立てましょう。
- 単独登山はやめましょう。
- 天候に注意しましょう。
- 装備と食料を確かめましょう。
- 登山計画書を必ず最寄りの警察署、駐在所に提出しましょう。

—中標津警察署・住民課—

イベント

8月30日・31日にALL JAPAN
 サーモンダービーin標津

全国から太公望が多数来町します皆様の温かい歓迎をお願いします。



10年を迎え前夜祭開催

～みなさんも参加しませんか～

10周年を記念し、“ALL JAPAN サーモンダービーin標津10周年記念事業”を開催します。皆様多数の参加をお待ちしています。

■日時 8月29日(金)17時

■場所 あすばる

■内容

・式典

・トークショー

(テーマ「標津町でのフィッシング」)

・交流会(アトラクション)

■会費 3,000円

■締切 8月20日(水)

★前夜祭の申込みは、大会事務局(水産商工観光課☎2-2265)まで。

みんなの掲示板

空き缶のタブ集めにご協力を

みなさんは、空き缶のタブが車イスになることをご存じだと思います。標津小学校では、昨年からのタブ集めを行っています。

しかし、全校児童だけでドラム缶で8本分を集めるのはとても難しく(現在2本半…)、町民のみなさんのご協力をお願いしたいのです。

タブが集まりましたら、ご面倒でも当校「ボランティア委員会(井口亜弥香委員長)までお届けください。よろ

しくお願いします。「タブ集め みんなで協力 車イス」



タブ集めの協力を呼びかける標津小「ボランティア委員会」のメンバー

スポーツ

☆ 8月のスポーツ ☆

3日(日)

◇マリンバンク漁協組合長杯パークゴルフ大会

[9時~望ヶ丘パークゴルフ場]

◇第1回標津国際水中バレーボール大会

[9時15分~町営リンク]

◇東日本野球大会1部支部大会

[8時30分~町営球場]

4日(月)

◇漁協組合長杯ゲートボール大会

[9時~ひまわり]

10日(日)

◇第10回町長杯ソフトボール大会

[9時~標津小中学校グラウンド]

17日(日)

◇第4回標津地区簡易保険パークゴルフ大会

[9時~望ヶ丘パークゴルフ場]

24日(日)

◇駒山旗争奪標津選手権野球大会

[8時30分~町営球場]

26日(火)

◇農協組合長杯ゲートボール大会

[9時~ひまわり]

27日(水)~29日(金)

◇子供水泳教室

[19時~町営プール]

28日(木)

◇バレーボール教室

[16時~総合体育館]

29日(金)

◇ソフトバレーボール教室

[19時~総合体育館]

31日(日)

◇管内ソフトバレーボール大会

[9時~総合体育館]

◇釧根地区少林寺昇級審査会

[9時~鳩ヶ丘体育館]

8月の健康相談・健診日程表

乳幼児

■離乳食教室

7日(木)

[13時30分~/ひまわり]

■乳幼児相談

19日(火)〈標津〉

[9時30分~10時30分・13時30分~14時30分/保健福祉センター「ひまわり」]

※午前の部 10・13ヵ月児、午後の部

4・7ヵ月児対象

21日(木)〈川北〉

[13時30分~14時30分/川北生涯学習センター]

※4・7・10・13ヵ月児対象

■4~5ヵ月児健診

25日(月)

[14時~14時30分/ひまわり]

■1歳6ヵ月児健診

25日(月)

[10時~10時30分/ひまわり]

■3歳児健診

26日(火)

[9時~10時/ひまわり]

■歯ピカ教室

4日(月)・5日(火)

[9時30分~10時30分・13時30分~14時30分/ひまわり]

成人

■一般健康相談

4日(月)

[13時30分~15時/茶志骨パイロット会館]

21日(木)

[10時~11時30分/川北生涯学習センター]

22日(金)

[13時~16時/ひまわり]

■糖尿病健康相談(予約制)

20日(水)

[10時~16時/ひまわり]

妊婦

■ママスクール

7日(金)

[10時~12時/ひまわり]

★お問い合わせは、保健福祉センター「ひまわり」(☎2-1515)までお気軽にどうぞ...

ごみの収集日

曜日	一般廃棄物収集区域 (祭日は休みです)〈有料〉	不燃物収集日 (無料)
月・木	新川上町・若草町・川上町・栄町 緑町・弥栄町・曙町	8月7日(木)・8月21日(木) 8月28日(木)・9月4日(木)
火・金	本町・鳩ヶ丘町・双葉町・望ヶ丘町・ 桜木町・住吉町・東浜町	8月8日(金)・8月22日(金) 8月29日(金)・9月5日(金)
水・土	川北市街・伊茶仁・忠類・浜古多糠 薫別・崎無異・古多糠	8月6日(水)・8月20日(水) 8月27日(水)・9月3日(水)

★ごみは指定された日に指定された場所へきちんと出しましょう。

教育

高校入学者選抜の改善に
あなたのご意見を

北海道教育委員会では、公立高校入学者選抜の改善について「改善試案」を作成し、この試案について道民各層の意見をいただき、改善案作成を行うこととしていきます。

このため、「公立高等学校入学者選抜の改善試案についての意見を聞く会」を次のとおり開催します。

■日 時 8月25日(月)
午後1時～午後4時

■場 所 根室商工会館

■申込期日 8月6日(水)

★申込み・お問い合わせは、町教育委員会(☎2-3110)まで。

年金

今年度は「物価スライド」は
行われません

～みんなが加入し、

みんなで支える国民年金～

国民年金、厚生年金の額については、全国消費者物価指数の変動に応じて改定する物価スライド制がとられています。

本年度は、平成8年の全国消費者物価指数が前年に比べて0.1%上昇しています。しかし、昨年度は全国消費者物価指数が前年に比べ0.1%下落したにもかかわらず、特例的に年金額を据え置いたことから、本年度のスライドによる年金額の改定はありません。

このため、例年受給者に送付されている「年金改定通知書」は、昨年度に引き続き今年度も送付されませんのでご了承ください。

なお、年金額は、受給条件に変更がない場合はほぼ同額の見込みとなります。

★相談・お問い合わせは、住民課国民年金係(☎内線121)まで。

金婚式

金婚式を迎えるご夫婦に
記念品を差し上げます

町では、金婚式(結婚50年)を迎えるご夫婦にお祝いの記念品を贈呈します。

次に該当されるご夫婦は8月29日(金)までにご連絡願います。

■対象となるご夫婦

昭和22年1月～12月の間に結婚され、夫婦そろって健在な方

★連絡先・お問い合わせは、福祉保健課社会福祉係(☎内線137)まで。

衛生

マレーシア産ソースに
死亡率の高い菌が検出

東京都で販売されていたマレーシア産オイスターソース及びチリソースから、ポツリヌスA型菌が検出されました。

ポツリヌス菌は、細菌性食中毒のうちもっとも症状が重く、死亡率が高い菌として恐れられています。

輸入業者の丸成商事(株)は、当該製品の回収を行っていますが、昨年のお歳暮時期にギフトセットの中の一品として販売されていたため、全国的に流通している可能性があります。

この商品を購入した方、もしくは贈答品として受け取り、現在所持している方は、賞味期限に関係なく使用しないようまた、直ちに中標津保健所に連絡するようお願いいたします。

■品 名

オイスターソース 255gピン詰め

オイスターソース 500g缶詰め

チリソース 225gピン詰め

■商 品 名

マルセイ 天壇牌 蠔油醬

マルセイ 天壇牌 辣椒醬

■ギフトセット名

マルセイ中華の世界

★連絡先は、中標津保健所(☎01537-2-2168)まで。

くみ取りは余裕ある
申し込みを

し尿くみ取りは、申込みをされてから1～3週間の期間を要します。

これは、時期によって申込件数の多い時や少ない時があるためですが、このため、くみ取りを希望される方は、便槽が満杯にならないうちに余裕をもった申込みをされるようお願いいたします。

また、申込みされた場合はすぐにくみ取り券(し尿証紙)をご購入願います。購入の際には、くみ取り料金に差額(10円単位)が出ますので、100円券と同様に10円券もお買い求めください。

残った券は次回に使用できますので、不足のないようご注意願います。

なお、現在、くみ取り後に「汲取票」をお渡ししていますが、汲取量や料金が記載されていますので、今後の参考として、くみ取り業務へのご協力をお願いします。

★お問い合わせは、住民課環境衛生係(☎内線130)まで。

共済制度

「建設業退職金共済制度」を
ご存じですか

この制度は、国が昭和39年に建設業の労働福祉対策の一環として中小企業退職金共済法に基づき創設。その実施運営は特殊法人建設業・清酒製造業・林業退職金共済組合が当たっています。

一般の退職金制度とは異なり、建設業界で働く限り事業所を変えても事業所に雇用され就労した期間全部を通算して退職金を支払うという退職金制度であり、掛金納付は、共済契約を結んでいる事業主が加入労働者の共済手帳に就労日数に応じて証紙(掛金)を貼付、消印することにより行われます。

★お問い合わせは、建退共北海道支部(☎011-261-6181)まで。

まちの声

(135)

「真の発展は 町民の融和から」

「健康と福祉のまち」づくりはその基本は何としても人と人との融和の精神であり、人間だけが持つ謙虚さであろうと思いますので、施設の事業と並行して「人づくり」という難事業も推

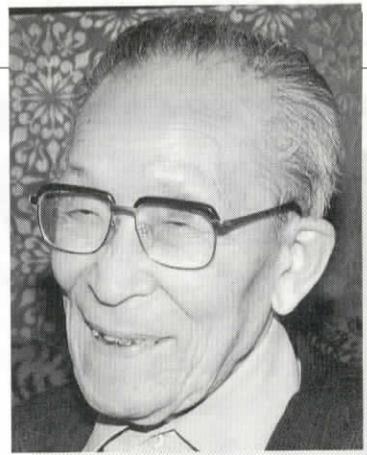
進してほしいですね。▽地方自治体も総じて「計画あれど金無し」という状態らしい。しかしそれはどういうことなのだ。金がなくてできないというのであればそれは誰でもいえることで「金が無い」がそれだから英知を絞って金を生み出して計画を実行するのが町民の信頼する為政者ではなかるうか。そういえば我が町の財政状態はどうなんだろう。

この二十数年で施行された事業は数え切れないぐらい多いので、余裕あるとは思えない町財政で一体町自体の金をどれほど使ったことかと私は考えている。勿論起債や国・道そのほか補助金などはいままでもないが、金を出させる知能、やはり理事者の英知を絞って生んだ金であろうと私は信じ、そのご苦労に感謝したい。

▽「健康と福祉のまち」そして「潤いのあるまち」づくりはその基本は何としても人と人との融和の精神であり、人間だけが持つ謙虚さであろうと思いますので、施設の事業と並行して「人づくり」という難事業も推

進してほしいですね。▽地方自治体も総じて「計画あれど金無し」という状態らしい。しかしそれはどういうことなのだ。金がなくてできないというのであればそれは誰でもいえることで「金が無い」がそれだから英知を絞って金を生み出して計画を実行するのが町民の信頼する為政者ではなかるうか。そういえば我が町の財政状態はどうなんだろう。

この二十数年で施行された事業は数え切れないぐらい多いので、余裕あるとは思えない町財政で一体町自体の金をどれほど使ったことかと私は考えている。勿論起債や国・道そのほか補助金などはいままでもないが、金を出させる知能、やはり理事者の英知を絞って生んだ金であろうと私は信じ、そのご苦労に感謝したい。



つよし
高橋 勅さん
(弥 栄 町)

昭和四十六年五月五日、三十二年振りで標津に帰ってきました。流浪の旅ではなかったが、実はここに帰ってホッとした。それは時代が大きく変わったがまだ昔の人達やその次の代の昭和初期生まれの知己が健全として第一線で活躍しているからである。しかし、驚いたことには、まず役場庁舎でそこは仮住まいであり、まちは草ぼうぼうのところありで、私も長い役場生活

—人のうごき—

- ・人口 6,627人 (+ 5)
- ・男 3,218人 (+ 8)
- ・女 3,409人 (- 3)
- ・世帯数 2,333人 (+ 4)

◇平成9年7月1日現在
() は前年比

町内の交通事故

- ・人身事故 0件 (7)
- ・負傷者 0人 (10)
- ・死亡者 0人 (0)
- ・物損事故 14件 (112)

◇6月16日～7月15日まで
() は累計

編集のまど

▽標高野球部の戦いぶりをぜひ見たいと7月5日(土)、釧路市民球場に足を運ぶ。二回戦の相手は強豪・釧路江南。数日前から勝てる予感がしてしかなかった。▽試合開始。初回、先取点を奪う。「やるじゃないか標高」。7回終了時点でリード。「勝てるぞ標高」(詳しくは11ページ)。▽結果は惜しくも敗れたが、その戦いぶりはだれもが認める実力。一人ひとりに「よくやった」と声をかけてあげたかった。結果だけを見ていうのは選手たちがかわいそうだ。それは、勝負は勝たなければ。しかし、チームが一丸となり、厳しい練習に耐え、ここまでできた過程が大事だと思う。▽3年生の夏は終わったが、この「がんばった」経験は、きっと社会という広いグラウンドの中でもいいプレーができると思っている。

▽「タウン・ニュース」で掲載のとおり核兵器廃絶を訴えながら自転車で行く。一周に挑戦している坪口さん。役場に立ち寄り、自ら長崎県で原爆を体験した生の声を訴えていきました。▽この坪口さんのような原爆体験者の数も年々少なくなってきた。中、私たちが次世代にしっかりと語り継いでいかなければならないと思います。▽とにかく、坪口さんには無事にゴールしてほしいものです。(M)

交通事故死 ゼロの日

720日
(7月20日現在)

広報しべつ

- ・発行日/平成9年8月1日
- ・編集・発行/標津町役場 総務住民部企画振興課広報統計係
〒086-16 北海道標津郡標津町字標津3番地5
☎01538-2-2131・FAX2-3011
- ・印刷/標津印刷(株)